

## 平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山下 智史
全体計画				経費区分		—		内線		3615	
事務事業名	4263 小学校教育振興事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100202 教育費・小学校費・教育振興費									
	事業	010000 小学校教育振興事業									
事業目的		事業概要・効果									
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備を図る。		教科書や学習指導に合った教材を使用することで、わかりやすく、より深い学習を行うことができるため、教材備品の整備をする。									

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
平成29年度 実績	平成30年度 実績
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備

指標名	無し				
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

## 事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		21,002	43,616
特 定 財 源	国庫支出金	712	780
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5,141	24,800
一般財源		15,149	18,036
人 員 数 (人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,145.0	2,145.0
人 員 コ 料	正規職員	287.5	287.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	計	2,432.5	2,432.5
	市民一人当たりの経費	0.4	0.9
総額		23,434.5	46,048.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	416	謝礼
11節 需用費	7,689	消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	12,897	手数料、備品購入費、教材備品購入費、図書購入費

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	439	謝礼
11節 需用費	31,500	消耗品費（2020年度～教師用教科用図書等費用含む）
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	11,677	手数料、備品購入費、教材備品購入費、図書購入費

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るために市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	各種教材備品の整備を行い、教育効果を高めるために必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	教育効果・効率性を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行った。

図書館教育の充実のため、蔵書の整備を行った。

標準学力テストを実施し（小学1年生を除く）、基礎・基本学力の定着の確認と今後の指導に活かした。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	2次評価	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント		
新学習指導要領への対応、学力向上は喫緊の課題		新学習指導要領への的確に対応する		

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	